



■ 3月議会（主な議案です：採決は3/20）

平成26年度一般会計補正予算

2億6316万円を追加し総額を247億3924万3千円とするものです。主な内容は、市有地の処分、基金の積み立て、国保会計への繰り出し、生活保護事務費関係など。

教育委員会のしくみが変わります

教育委員長と教育長が一本化され、教育長の任免は市長が議会の同意を得て行います。これに伴い教育委員会の定数が6人から5人へと、1名減ります。

新教育長（特別職）は、委員ではなく構成員となり、教育委員会を代表します。

【説明】 教育委員会は引き続き合議体の執行機関であるため、教育長は教育委員会の意思決定に基づき事務をつかさどる立場にあることに変わりはなく、教育委員会の意思決定に反する事務執行を行うことはできません。

学童保育所の増設（分割）

太宰府、太宰府東、太宰府南が第2学童保育所、水城西は第3学童保育所を増設します。太宰府市全体で15ヶ所、定員は160人増の830人になります。

平成27年度一般会計当初予算

《市の説明》4月に市長選挙があるので骨格予算（義務的経費、経常的経費）として編成した。予算総額は体育複合施設整備事業約20億円を含め約242億で前年度と比較して約15億円、6.7%の増。限られた財源の有効配分に努めた。

【説明】 過去最大規模です。体育複合施設（総合体育館）整備事業は約33億円を予定しており、平成27年度に工事代金等の残りを払います。建設は議会の多数（9:7）を得ましたが、提案の時期が問題です。本市にとって重要な案件であり市民の関心も高いうえ、市長選・市議選が目の前にあるのですから、そこで民意を問うべきでした。家計に例えると年収420万、ローン残高510万の家庭で、約80万円（維持費は別）の支出。借金返済、食費、医療、教育、介護…ギリギリの中で苦しい金額です

詳しくは → f-icq.com

または →

門田直樹

検索